



川崎 民生委員 情報

見 童 委 員

写真提供:高津区橘第3地区 飯田 嘉徳 会長

所在地:高津区千年伊勢山台423-1ほか

交 通:市バス、東急バス「影向寺」バス停から徒歩約10分



＼ 高津区の編集部員おすすめスポット /

「橘樹(たちばな)歴史公園」

7世紀後半から10世紀にかけて武蔵国橘樹(たちばな)郡を治めたとされる役所の跡「橘樹官衙遺跡群」の一角に、「橘樹歴史公園」が整備されました。

高津区千年の丘の上。公園内にはシンボルとして倉庫一棟が復元され、遠い飛鳥時代をしのばせています。



川崎版民生委員児童委員
キャラクター
川崎ミンジー

もくじ

- P2 ● 各区・地区民児協だより
- P5 ● 主任児童委員部会の活動報告
- P6 ● 令和6年度 川崎市民生委員大会・顕彰式典
- P7 ● 理事視察研修の報告
- P7 ● 関東ブロック大会の報告
- P8 ● 令和6年度 表彰の紹介
- P8 ● 編集後記

小田地区民児協の活動概要

小田地区
三ツ森 のり子

小 田地区民児協は、川崎区の南に位置する小田地区・浅田地区と、今年度より京町三丁目地区が加わり、8町内会を活動区域としています。民生委員39名、主任児童委員2名の計41名で構成されており、母子児童福祉部会・障がい者福祉部会・高齢者福祉部会の3部会を運営しています。部会ごとに日々研修を重ねており、毎月開催される定例会では、それ



ぞれの部会の意思疎通を図っています。

当民児協は、川崎市の中でも高齢化率が

特に高い地域となっており、認知症を患うリスクが高くなるとも言えます。その為に各部会が連携して、高齢者に対して次のような取り組みを行っています。

- ①地域担当者による高齢者の見守り
- ②高齢者会食会や敬老会での見守り
- ③高齢者施設との定期的な連絡と状況把握。

月一度開催される子育てサロンでは、0歳児から2歳児の子どもと母親や父親の参加があり、東小田保育園保育士さんの読み聞かせや手遊び等のふれあい遊びを行い、楽しい時間を過ごしています。サロンは、母親や父親が互いに子育ての不安や身近な話をしたりして



コミュニケーションが取れる居場所になるよう、民生委員も会話に参加して応援をしています。

また、令和5年12月より「みんなのごはん」の食糧支援にも協力し地区社協と共に支援活動をしています。

これからも小田地区民児協は、地域の方々の協力を得ながら関係機関と連携し、地域の実情を把握すると共に、健全な地域社会づくりに努め、信頼される民生委員活動を目指していきます。

子育てフリースペースを開催

南河原地区
榎本 由美子

私 たちは、河原町保育園で保育士さん・保健師さんと子育てフリースペースを行っています。この活動は平成12年に立ち上げ、その活動を評価されて、平成28年に優良活動団体として厚生労働大臣表彰を受賞しました。

子育てに不安を抱える親をサポートし、社会や地域全体で支援する「子育ての社会化」という考え方を広げ、安心して子育てが出来る地域づくりを目的とし、誰もが気楽に利用でき、親子共に安らげ、子育てや生活に関する相談や友達づくりの場にしてもらえよう継続しています。初めは人見知りや泣いてしまうお子さんも、私たちのアンパンマン



のエプロンを見て笑顔をみせてくれます。特に製作が人気で、用意したキットが足りなくなる事もありました。お母さんも一工夫したり、お子さんと一緒に作ったおもちゃで楽しく遊んでいる姿を見ると私たちも「次は何を作ろう。」と頑張れます。

親子体操は、お子さんとの楽しい運動やお母さん向けのストレッチ。「初めましての方どうし」がペアになり、お話をするきっかけにもなります。その間は私たちがお子さんと遊びます。そして保育園を利用しているため園児さんとの交流の機会も作っています。いずれは保育園に預けてお仕事を再開される方が多い昨今ですので、園生活を垣間見えて、安心されるのではないのでしょうか。

一通り活動が終わると、保育士さんや保健師さんとお話しをして帰るお母さんもいらっしゃいます。最近では0才児の親子が多く、毎月継続して参加されるとお子さんの成長と一緒に一喜一憂。楽しい活動を続けていきたいと思っています。

大戸第三地区民児協の活動紹介

大戸第三地区
内藤 正美

下 小田中1～6丁目町会より選出された22名の民生委員児童委員と2名の主任児童委員が毎月第3水曜日の定例会を柱に各種活動に取り組んでいます。近年豪雨災害が各地で多発しております。私たちの住む町も多摩川に隣接しており、多摩川の水位が上昇すればいつ内水氾濫をおこすかわかりません。老人の独居世帯また高齢者世帯そして障害者の方がいる世帯等町会と力を合わせて、避難誘導、避難援助していかなくてはならないと思います、現状の治水対策について学ぼうと川崎市麻生区下麻生にある恩廻(オンマワシ)公園調整池地下トンネルを視察研修してまいりました。2019年10月多摩川流域の宮内、新丸子、小杉周辺への氾濫はまだ記憶に新しい事です。多摩川沿線でも早く調整池地下トンネルが出来ればいいなと思っております。

私たち民生委員児童委員は、ひとり暮らし等高齢者調査の訪問等個別で動くことが多いのですが、子育てサロンは主任児童委員中心に委員全員で協力して活動

しております。コロナ禍においても主任児童委員の創意工夫でZOOMを活用した「オンライン子育てサロン」を継続してきました。現在はゼロ歳児を対象にJAセレサ川崎中原支店の和室をお借りして定員15組事前申込制で開催しています。毎回地区担当保健師さん、近隣の3つの保育園から順番で2名～3名の保育士さんのご協力をいただいています。7月は産後ダンス、抱っこ紐時の姿勢確認を体験し好評でした。毎年12月は大戸地区合同企画のクリスマス会を地区別に開催しています。大戸第三地区には4～50組の親子さんが



参加されます。サンタさんから手作りのプレゼントを渡し、私達委員も全員と一緒に楽しい時間を過ごしています。



参加されます。サンタさんから手作りのプレゼントを渡し、私達委員も全員と一緒に楽しい時間を過ごしています。

高津第二地区民児協の活動概要

高津第二地区
下村 桂子

高 津第二地区民児協は、主任児童委員1名を含む34名で活動しています。

担当地域は、KSPのある坂戸地区、洗足学園のある久本地区、そして南武線の武蔵溝ノ口駅から子ども夢パークのある津田山駅を越え、久地駅までの両側にまたがっている下作延地区という広い範囲となっています。

総会や自主研修会については、現役やパートで働いている委員も多く全員の出席がなかなか叶わない状況のため、一人でも多く出席できるように、土曜日に開催しています。

民児協全体での事業のほかに、いくつかの町会・自治会単位で民生委員が中心となり、子育てサロンや高齢者サロンなどを開いています。

民生委員は個人での活動も多く、活動のし方も色々違いがあるだろうと感じられることから、委員同士の情報交換は必要だと思います。そのような中、今年度の自主研修会では地域ごとのグループに分かれて課題

を考え、今後の取り組みについて検討を始めたところです。各グループの報告を聞くことで新しい発見があれば良いと思っています。

全員集合の難しい私達ですが、交流を図るための納涼会や秋には日帰り研修を計画しています。自主研修会などとは違う雰囲気委員同士の親睦を深めていきたいと思えます。



地区班ごとに行く「地域環境調査」

宮前第三地区
浮岳 亮仁

「地域環境調査」は当民児協が30年来続けてきた活動の一つです。もともとは、青少年の健全な生活環境づくりを目指し、夏休みに入った頃、地域内にある成人図書の自動販売機や販売店、スーパーのゲームコーナーやコンビニ前でたむろする中高生、夜の公園の様子などを調査していました。その後、地域の環境が徐々に改善されたので、数年前からは



公園の遊具や樹木の点検などを、委員全員、もしくは児童福祉部会委員のみで行っておりました。

しかし、4年前、コロナ禍により、全委員で行動することが困難になりました。そこで、それを機に隣接する地区の



5, 6人の委員で構成される4つの「地区班」を作り、「地域の社会資源」「ハザードマップによる危険個所の確認」「災害選定井戸、防災倉庫、防災無線の確認」など、

毎年定めた共通のテーマのもと、地区班ごとにそれぞれの担当地区を調査するという形に変えました。今年のテーマは「災害時要援護者宅の住所の確認」です。地区班内の要援護者のお宅の住所を班員全員で確認しあい、建物の外観などを見ます。本来は7, 8月中に行っていた活動ですが、昨今は猛暑による熱中症予防のため、班ごとに都合の良い日、季節に行うようになりました。



二つのサロン

生田東地区
松澤 明美

生田東地区民児協は、専修大学を下って府中街道を稲城に向う細長い地域となっております。今回は生田東地区民児協の主流となっている二つの子育てサロン「すくすく」事業についてご紹介させていただきます。

生田東地区は、「土淵すくすく」と、六月より再開しました「飯室すくすく」の二つの子育てサロンを運営しており、その時の季節や行事に合わせて、お雛様

や鯉のぼり作り、クリスマスリースを作って楽しんでおります。人気があるのは「乳幼児の救命救急講習」で、赤ちゃんのお人形を使った心肺蘇生法や誤飲した時の対処法などは、お母様方も真剣に講習を受けておられます。また、「アート・バルーン」のお楽しみ会で

は、簡単に作れる作品をご自分で作って持ち帰ることができます。時には風船のわれる音でお子さんの泣き声などがしたり、たくさんの出来上がった風船をもらったり、リクエストをして作ってもらったりして皆さん楽しんでおります。

また、お誕生月のお子さんには手型、足型を作ってプレゼントし、最近ではチェキで写真を撮ってその場でお渡ししています。参加されたお母様からは「すくすく」に参加して、同じ年齢の子を持つ方とお友達になれたし、また色んなお楽しみ会があり、「毎回参加するのが楽しみです」とのお言葉も頂いております。



少子化が進む中、少しでも親子の触れ合い・お母様たちの心が休まる場を作っていけるよう引き続き頑張っております。

最後に、土淵保育園の先生、元民生委員の方々のご協力に感謝申し上げます。

誰もが自分らしく生きる地域を福祉の連携で

麻生東第二地区
中村 立子

麻生東第二地区民児協では、各委員の日々の活動に資するため、毎月定例会に研修を組み込んでいます。研修は①内部研修と②外部研修に分けられますが、①では事例検討や行政や地域で活動するグループ・団体の方々をお招きしてお話を伺い、②は年に数回、高齢者・障害者・児童のケアや保護施設など個別課題に取り組む施設を訪問・見学させていただき、学んでいます。

今回は外部研修で「川崎市北部リハビリテーションセンター」を訪れました。一般に「リハビリテーション」という言葉で想像する所とは違い、機能訓練より幅広い概念として「見守り・名誉回復・社会復帰」までを含む、いわば共生社会創造プロジェクトの一つを提示しているような所でした。事業は①北部地域支援室・北部在宅支援室（市民や専門職の相談対応）②北部日中活動センター（利用者の主体性を引き出しふさわしい生活を作っていく為の支援）③北部地域生活支援センター「ゆりあす」（精神障害の方を対象を絞つ

た応援）④百合丘就労援助センター（幅広い意味での障害者に対する就労支援）の4つが連携しつつ、運営も官民が得意な所を活かして対応しているとの事。私達は②の利用者さんの活動する施設を中心に見学させていただきました。利用者さんとも言葉を交わしながら見学し、彼らの自尊感情の高さや明るく作業に取り組む姿に感動しました。



笑顔はじけた健康福祉まつり

主任児童委員部会
山田 千明

高津区にある7つの地区民児協からなる主任児童委員部会は現在11名で活動しています。

主な活動内容は月1回の部会、子育てサロン「なかよしルーム」の運営、保育園・小学校の行事参加、区主催の子育て事業の参加、協力などです。

区主催の事業では秋に行われる「子ども子育てフェスタ」、そして昨年度より夏に行われる「健康福祉まつり」に参加しています。

今年度の「健康福祉まつり」では来場者に楽しんでもらうため、「夏まつり」をイメージした手作りのゲームコーナー「たこやきビンゴ」「ワニワニパニック」「金魚・星すくい」を行いました。そしてゲームの景品も全て手作りで用意し、当日を迎えました。

子どもたちの来場が少なく、不安もありましたが大



人の方も童心にかえり、楽しそうに、時には真剣にゲームに挑戦していただきました。

私たち部会のモットーは皆に楽しんでいただく、そして何よりも自分たちが楽しむ！です。そんな雰囲気が少しでも来場者の方に伝われば嬉しい限りです。次は「子ども子育てフェスタ」に向けワクワクしながら企画を思案中です。今年は主任児童委員制度創設30年。これからもママ・パパの応援団として活動していきたいです。



情報誌編集委員 網屋 英子

- 日時：令和6年5月22日（水）
午後13時30分～16時35分
- 場所：カルッツかわさきホール

今年の顕彰式典は、第74回川崎市民生委員児童委員大会と合同での開催でした。民生委員児童委員が一堂に会し、多年にわたって功労のあった委員を表彰し、感謝の意を表するとともに、活動事例の発表を通してその職務と使命を確認し、決意を新たにすための大会です。大会にはご来賓をお迎えし、1,004名が出席しました。

主催者挨拶では、福田紀彦川崎市長より、民生委員児童委員の功績や地域への貢献に感謝のお言葉がありました。川崎市制100周年や人口150万人、少子高齢化等の市政の報告もありました。

同じく主催者である、川崎市民生委員児童委員協議会の今富子会長より、自分の担当地域を把握して支援につなげる活動は信頼が大切であると挨拶がありました。

【第一部】式典

川崎市長より「勤続功労表彰」があり、勤続25年の方は3名、勤続20年の方は47名、勤続15年の方は1名、勤続10年の方は23名が受賞されました。同時に川崎市民生委員児童委員協議会会長表彰では、勤続20年の47名が受賞されました。任期半ばに逝去された3名の方には感謝状が贈られました。受賞者を代表して、勤続25年功労表彰の野出絹江委員（川崎区中央第一地区）が謝辞の挨拶をされました。

ご来賓からは、川崎市議会副議長の岩隈千尋氏と川崎市社会福祉協議会会長の浮岳堯仁会長よりご挨拶をいただきました。

【第二部】議事

第二部の議事は、議長団に今会長と小宮副会長が就任し、議事の進行を行いました。

①民児協活動発表は、川崎区大師第四地区の岡田公副会長から「子ども民生委員の取り組みについて」でした。小学校2校13名の参加があり、1



日目は委嘱状の伝達式・説明・手作り品の作成。2日目の高齢者宅の訪問では、プレゼントを持参しました。子ども達の元気な声はお互い励みになり、民生委員児童委員の役目や近所の人を知る機会になりました。

②活動事例発表は、麻生区柿生第三地区の藤原美子理事による「民児協災害部会」の報告がありました。麻生区は令和5年度、厚生労働省が発表した平均寿命の調査で、長寿日本一（男性84.0歳、女性89.2歳）の区だったそうです。災害時に備え、「民児協であらかじめ決めておくべきこと」の策定をしました。委員ひとりひとりの行動や担当地区の資料を把握することで、具体的な活動を明確にする指針になりました。

大会宣言は、横島正志常任理事の朗読で採択されました。民生委員の歌「花咲く郷土」は初めての委員はこの大会で覚えることでしょうか。

【第三部】講演会

第三部は、全国子ども食堂支援センター「むすびえ」理事長、湯浅誠氏による「子ども食堂から見えてくる日本社会」についての講演でした。子ども食堂とは、子どもが一人でも安心して行ける安価な食堂です。子どもを地域で育てることや、みんなが参加できる誰も取りこぼさない社会作り、団体や企業からの支援や援助、ネットワーク作りから社会参加の現状などを拝聴しました。皆さんは近くの子ども食堂を知っていますか。

令和6年度 理事視察研修に参加して

情報誌編集委員
田邊 達夫

川崎市民児協の主催する視察研修で栃木県さくら市にある「喜連川社会復帰促進センター」に行きました。同センターは平成19年に、構造改革特区制度を活用した新しいタイプの刑務所として開庁しました。さらに令和4年度からは公共サービス改革法を活用して、引き続き「官民協働による運営」「人材の再生」「地域との共生」の運営理念に基づいた取り組みを進めています。

同センターの中を視察して驚いたのは、男性受刑者と一緒に女性受刑者も共同で職業訓練を受けていることでした。床やエアコン洗浄などのハウスクリーニングを共に学んでいましたが、受刑者同士の会話は禁止との規則の中で黙々と作業していました。刑務所は男女別に服役するのが一般的ですが、こちらは非常に珍しい取り組みとのことでした。出来る限り社会により近い形での職業訓練を受けさせたい趣旨とのことでした。このハウスクリーニング科以外にも、農業科や介護福祉科など14種の職業訓練科がありました。

また同センター内には、精神・身体に障害のある人や高齢者などの受刑者を収容する「特化ユニット」



があり、それぞれに適合した作業療法やリハビリテーションを行っています。このような専門的プログラムを受けさせることにより、社会適応力や改善更正の意欲を喚起するとともに円滑な社会復帰の促進に努めているとのことでした。

ロビーには様々な刑務所作業製品が展示されていて、特に「日光彫」の工芸品は素晴らしい出来で目に止まりました。年1回の「きつれがわ矯正展」で販売するとのことでした。

刑の目的が、過去の懲らしめから更生への転換と言われる現在、罪を犯した人の社会復帰への道をいかに切り開くかを考えさせられた研修でした。

関東ブロック活動研究協議会に参加して

副会長
村田 清子

1 都10県8政令都市の民生委員・児童委員が一堂に会して各都市の活動内容や課題について意見交換を行い、交流を深めることを目的に毎年持ち回りで開催されています。今年は7月18日（木）・19日（金）に沼津市で開催され、常任理事8名が参加しました。

1日目のオープニングセレモニーは、富岳会「竜神組」による、障がい者を含めた8名の迫力ある和太鼓演奏でした。開会式、式典、基調報告と続き、記念講演は「心の壁を超えるには～全盲の僕が弁護士になった理由～」と題した大胡田誠弁護士の講演でした。

12才で失明し、大学では点字を打つ音がうるさいので席を移動して欲しいと言われた時に、同じクラスの仲間達が弁護して応援してくれた経験から、弁護士を目指したそうです。



2日目は4つの分科会に分かれ、テーマごとに各民児協の活動事例の紹介と、今後の活動強化に向けて意見交換を行いました。第1分科会では「次期一斉改選を控えて～新たななり手確保への取り組み～」というテーマで、宮前区の山本良子会長が働きながらも活動が出来る負荷の軽減策や、広報活動をデジタル化して民生委員の周知と地域福祉に参加しやすい環境づくりへの取り組みについて、実践報告を行いました。第2分科会は「子育て・子育てを支える地域づくりに向けた児童委員・主任児童委員の連携への取り組み～主任児童委員制度30周年を迎えて～」、第3分科会は「災害に備える民生委員・児童委員活動～地域ぐるみの体制づくりに向けて」、第4分科会は「これからの単位民児協運営について考える」というテーマで各々事例発表があり、各分科会とも地域の実情に応じた課題への取り組みが報告され、参考になる事例もあり、有意義な時間となりました。



令和6年度表彰の紹介

～おめでとうございます～

(順不同、敬称略)



第93回全国民生委員児童委員大会

- 期日：令和6年11月20日(水)～21日(木)
- 会場：シーガイアコンベンションセンター

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

優良民生委員児童委員協議会表彰

住吉第二地区民生委員児童委員協議会
(田中 昌弘 会長)

民生委員児童委員功労者

荒井 陽子(中央第一)
清水 仁子(大師第一)
宮崎 とみ子(小田)

永年勤続民生委員児童委員

川崎区20名、幸区21名、中原区39名、
高津区21名、宮前区20名、多摩区19名、麻生区10名
(計150名)

令和6年度 全国社会福祉大会

- 期日：令和6年11月26日(火)
- 会場：浅草公会堂大ホール

厚生労働大臣表彰

民生委員児童委員功労者

山木 春雄(田島)
田邊 静江(大戸第二)

民生委員優良活動団体

川崎区民生委員児童委員協議会
(星川 美代子 会長)

全国社会福祉協議会会長表彰

民生委員児童委員功労者

内田 章(御幸東第二)
成川 美知子(日吉第三)
山本 良子(宮前第四)

川崎市版民生委員・児童委員キャラクター「かわさきミンジー」

川崎市民児協では、民生委員児童委員を知ってもらうきっかけになるよう、「かわさきミンジー」というキャラクターを作成しました。このキャラクターは、東京都民生児童委員連合会が作成している「ミンジー」のご当地版です。このたび「かわさきミンジー」のバリエーションを追加しましたので、ぜひ川崎市民児協のHPよりダウンロードください。

ぜひ活用
ください。



編集後記

情報誌編集委員 田邊 達夫

今年のカレンダーも残すところ後1枚。1年の経過が益々早く感じるのは皆様も同じでしょうか。私たちの民生委員児童委員活動は、今年もコロナ禍の制限を受けながらの活動になりました。こういう環境下でも、例えば「見守り活動」の訪問を、電話やメールに代えてリスクを少なくして対応している委員もいます。知恵を使って、それぞれの状況を乗り切りたいと思います。

この情報誌が皆様により多く読んでいただけるよう、編集委員は毎回アイデアを出し合っています。紙面に関する意見等がありましたら、是非お寄せくださるようお願いいたします。

発行人 ● 今 富子

編集委員 ● 山木 春雄(委員長) 三ツ森 のり子(川崎区)
網屋 英子(幸区) 田邊 達夫(中原区)
飯田 嘉徳(高津区) 浮岳 亮仁(宮前区)
一柳 宗義(多摩区) 大沼 洋子(麻生区)
関 清恵(主任児童委員部会)

発行 ● 川崎市民生委員児童委員協議会
〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5
川崎市総合福祉センター6階
TEL: 044(739)8730
FAX: 044(739)8731
E-Mail: minjikyo@cs-w-kawasaki.or.jp



川崎市民生委員児童委員協議会のホームページです。研修会の情報も掲載しています。ぜひご覧ください。

